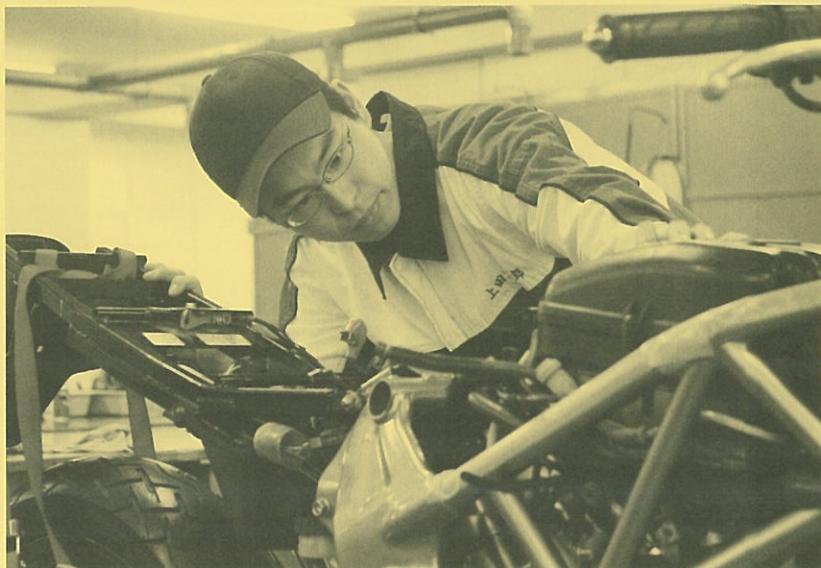




# Motorcycle Information

モーターサイクルインフォメーション

## いま二輪車の周辺では



本誌のWebサイト

[www.mc-info.jp](http://www.mc-info.jp)

バックナンバーの検索・閲覧が可能

バイクに出会って、  
本当にやりたいこ  
とを見ついた。p.1

## 特集

バイク業界の将来を担う！ 二輪整備士を目指す若者たち ..... 1

“若者の二輪車離れ？”そんな風評ふっ飛ばせ！ 二輪整備士を養成する学校を訪ねてみると、とことんバイク好きな若者たちが、自分の働く道をしっかりと目指して進んでいた。

## ズームアップ

リニューアル開催！ 二輪車安全運転全国大会2019 ..... 8

鈴鹿に熱い2日間が帰ってくる！ 昨年1年間の休止を経て、運営体制と競技内容を一新した「二輪車安全運転全国大会2019」が開催される。主催者と審判長に話を聞いた。

## トピックス

①カワサキワークスが18年ぶり参戦 激戦の予感「鈴鹿8耐」 ..... 12

②走って応援！ 「MFJ東北復興応援ツーリング2019」スタート ..... 13

③7・8・9月は「バイク月間」 各地で二輪車イベント開催 ..... 14

二輪車関係企業・団体 ..... 卷末

**安全運転技能コンテスト 8頁**  
鈴鹿で日本一を決定する！



駐車場を探すならココ！  
P.全 全国バイク駐車場案内

グッド マナー  
**JAPAN RIDERS**



発行  
一般  
社団法人 日本自動車工業会

〒105-0012  
東京都港区芝大門1-1-30  
日本自動車会館  
電話03-5405-6119（広報室）  
URL <http://www.jama.or.jp>

# 特集

## バイク業界の将来を担う! 二輪整備士を目指す若者たち

二輪整備士の養成施設の中には、二輪車メーカーと提携して授業や課外活動に特色を打ち出し、学生の人気を呼んでいる学校がある。YIC 京都工科自動車大学校は、スズキの二輪車技術講習会やヤマハの会社説明会を校内で実施。ホンダ テクニカル カレッジ 関東はホンダブランドの持ち味をフルに發揮。日本モータースポーツ専門学校は、学科にカワサキコースを新設した。

バイクのメンテナンスや修理を行う業務は、顧客の財産と安全を守る大事な仕事だ。分解整備を行うには国家資格が必要で、整備専門学校などに通って学び、資格を取得する若者が多い。とくに近年は、二輪車メーカーと提携して授業や課外活動に特色をもった学校に人気がある。こうした学校をいくつか訪ね、二輪自動車整備士（二輪整備士）を目指す学生たちに、将来への夢を語ってもらった。



二輪整備士を目指す若者たち

### 二輪整備士の就職率はほぼ 100%

バイクの分解整備を行う事業者になるには、全部で 14 種類ある自動車整備士の資格のうち、「二輪自動車整備士」以外の資格でも可能だ。しかし、バイクの整備を生業にするならば、やはり二輪に特化した「二輪自動車整備士」の資格（三級ないし二級）を取得することが望ましいだろう。

国土交通省自動車局整備課によると、二輪整備士の試験合格者は過去累計で三級資格が約 3 万人、二級資格が約 1 万 4,000 人となっている<sup>\*注</sup>。2018 年 1 年間の試験合格者数をみると、三級が約 190 人、二級が約 480 人という実績だ。同課では、「自動車整備士全体の受験者が年々減少しているなかで、二輪整備士は過去 15 年間をみても一定の水準で推移しています」と話しており、人気は安定している様子。

また、今回訪ねたどの整備専門学校も、「二輪整備士となれば、就職率はほぼ 100% です」と話しており、就職先に困らない安心感が人気の追い風になっているようだ。

\* 注：整備士の資格は更新制ではないため、永久付与となる。このため資格の保有者数は不明。

## Honda のカラーが魅力——ホンダ テクニカル カレッジ 関東

「ホンダテクニカルカレッジ (HTEC)」は、  
本田宗一郎が設立した整備士養成の専門学校  
で、関東校（埼玉県ふじみ野市）と関西校（大  
阪府大阪狭山市）がある。

関東校を訪ねた。学科は4年制の「一級自  
動車研究開発学科」と、2年制の「自動車整備科」  
があり、どちらの学科も「二級二輪自動車整備  
士」の技能を身に付けることができる。

教務部サービスエンジニア課 課長・熊原文人さんは、「本校では、ホンダのエンジニ  
アが講師を務め、教材となる車両にはホンダのクルマとバイクを豊富に揃えています。  
ほかにも、開発工程の現場見学、サーキットでのレース観戦、モータースポーツイベン  
トへの参加など、グループ企業のつながりをフルに活用した学校運営をしています。そ  
して卒業生の8割がホンダ関連企業へと就職していきます」と、学校の特色を紹介する。

キャンパスを案内してもらうと、校庭の一角にクラブハウスがあり、レースに出場す  
るバイクや、燃費競技会に出場する車両づくりに、放課後の学生たちが楽しそうに取り  
組んでいる。クラブ活動が盛んなことも、学校の大きな特長とのことだ。

### 社会人としてのマナーが身に付いた

自動車整備科2年の佐藤コナンさん（福島県出身・20歳）は、二輪整備士を志望し  
ており、二輪車販売店への就職も内定している。「この学  
校を選んだのは、ホンダのブランドに魅かれたからです。  
ホンダのクルマやバイクが大好きです」と話す。

学校行事の一環で行われた「二輪車安全運転講習」は、  
自分が変わるきっかけになった。「安全についてしっかり  
考えるようになって、何か行動するときのマナーにも気  
をつけるようになりました」と話し、自分自身の成長を  
感じている。「仕事に就いたら、大好きなバイクを通じて、  
お客様と家族のようなつながりを持ちたいし、バイクに  
乗ったことがない人には楽しさを広めたい」と、いまか  
ら仕事に就くことを楽しみにしている。



クラブ活動に励む HTEC の学生たち



オフロード部で活躍中

## アジア向けの 컴퓨터を開発したい

「この学校にいると、いろいろなことにチャレンジしたくなるんです」と話すのは、一級自動車研究開発学科2年の宍戸開さん（福島県出身・19歳）。クラブ活動ではミニバイク部に所属してレースに出場しており、3年生になったら海外で行われるヒストリックラリーへ参戦したいという。入学当初は2年制の学科を選択していたが、もっと学んでキャンパスライフを楽しみたいと、4年制の学科に変更したそうだ。

「先生方の話を聞くうちに、バイクの世界のいろいろなことがわかってき、興味が湧いています。将来はバイクの研究開発に携わりたいのですが、アジアの国々の暮らしに役立つような 컴퓨터を開発してみたいです。日本とはガソリンの品質が違うので、対応するタフなエンジンを研究したい」と話す。

自分のやりたい仕事がしっかりと見えており、じつに頼もしい宍戸さんだ。



ミニバイクレースで表彰台を狙う

## 難しい修理ほどやる気が湧いてくる

一級自動車研究開発学科3年の鈴木夢菜さん（埼玉県出身・21歳）は、父親の影響でバイク整備に興味が湧き、メカニックを目指すことは自分にとって自然な成り行きだったと話す。「私は機械を見ると、なぜ動くの？とか、なぜ壊れたの？と、“なぜ？”が止まらないんです。原因究明が面白い」と話す。

鈴木さんが一級の整備士を目指す理由も、上位の資格があるなら、その中味を身をもって知りたいからだ。「私は文系なので、難しい計算とかは苦手なんですが、突き詰めることで理解はできると思うんです。バイクの整備にしても、いわゆる“難修理”に取り組むのが好きで、手に負えない故障であればあるほどやる気が湧いてきます」と話す。卒業したら、二輪車メーカーのメンテナンス部門のなかでも、奥の深い領域で仕事をしたいと考えているようだ。女性の二輪整備士はまだまだ少ないが、鈴木さんが道を一本切り開いてくれると期待したい。



クラブ活動ではジムカーナに励んでいる